

平成23年度財団法人国際エメックスセンター事業計画

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

I 事業方針

我が国及び海外における閉鎖性海域の環境保全に関する取組みの連携の強化を図り、積極的にこれに貢献するため、人的・知的ネットワークの有効活用を図るとともに、国内外の閉鎖性海域の環境保全に取り組む様々な市民、機関、研究者等の参加を得て、「多様な自然と人間が共生する持続可能な社会」を目指した事業を推進する。

II 事業計画

1 閉鎖性海域環境保全推進事業

ア 第9回世界閉鎖性海域環境保全会議（エメックス会議）の開催等

1)趣 旨

人類共通の財産である閉鎖性海域の恵沢を次世代に継承していくことが大きな責務であるという観点から、世界閉鎖性海域環境保全会議（エメックス会議）を開催してきた。また、会議は、世界のNGO、市民、科学者、企業関係者、行政担当者等が一堂に会する国際的・学際的な情報の交流の場及び新たな取組みの提案の場として開催してきた。会議の成果は宣言としてまとめられているが、継続的に会議を開催し、これらの成果をさらに発展させていくことが求められている。

2)経 過

エメックス会議は、平成2年（1990年）に第1回会議が神戸で開催されて以来、世界各地で開催されているが、平成23年（2011年）には、第9回エメックス会議（EMECS9）をアメリカ合衆国メリーランド州ボルチモア市で開催することとしている。

○第9回世界閉鎖性海域環境保全会議(EMECS9)

- ・開催予定時期 平成23年(2011年)8月28日～31日
- ・開催予定場所 アメリカ合衆国メリーランド州ボルチモア市
ボルチモア・マリOTT・ウォーターフロント
- ・開催予定テーマ “Ensuring Accountability and Effective Communication for Successful Integrated Management of Enclosed Coastal Seas”
「閉鎖性海域の統合的管理を実現するための説明責任と情報共有環境の確保（仮訳）」

3) 事業内容

① EMECS9の開催

- ・ EMECS9の成功に向けて、セッション構成や会議運営等について、現地の EMECS9運営委員会やプログラム委員会等関係機関と協議を進め、EMECS9の円滑な開催運営を図る。
- ・ 日本からもより多くの関係者の参加を図るため、広報に努めるとともに、参加者への便宜を図っていく。

② EMECS10等の開催検討

第10回エメックス会議(EMECS10)については、トルコにおいて平成25年(2013年)に開催する予定であることから、科学・政策委員会と連携を図りながら、共同で開催するMEDCOAST(地中海沿岸環境国際会議)と調整を図っていく。

また、第11回エメックス会議(EMECS11)については、これまでに開催実績のない新たな開催地開拓の視点から、ロシアまたは韓国での開催が候補にあがっていることから、引き続き科学・政策委員会と連携を図りながら開催適地を選定していく。

イ 里海国際ワークショップの開催

「里海国際ワークショップ」は、平成20年(2008年)の第8回エメックス会議の特別セッションとして開催され、「上海宣言」の中でも「里海」の概念が大きく取り上げられた。また、平成21年(2009年)のPEMSEA(東アジア海域環境管理パートナーシップ)主催の東アジア海域会議(EAS-Congress 2009)においても「里海国際ワークショップ」を開催し、主として東アジア地域での認識を深めることができた。

今後さらに、欧米での沿岸活動との比較等を行い「里海」の概念を世界に広げていくため、EMECS9の特別セッションとして「里海国際ワークショップ」を開催する。

- ・ 開催予定時期 平成23年(2011年)8月28日
- ・ 開催予定場所 EMECS9会場内

ウ 世界の学生を対象とした青少年環境教育交流セッションへの派遣

私たちがこれまで受け継いできたかけがいのない環境を、将来にまで引き継いでいくためには、次世代を担う若者の環境保全に対する認識を高めることが重要である。

こうしたことを踏まえ、世界の学生の関心を深める機会づくりとするため、エメックス会議において特別セッションとして開催される「青少年環境教育交流セッション」への派遣等に関する公募作業を平成22年度に行った。

平成23年度は、平成22年度中に申請のあった応募者の中から審査を行い、選考された日本国内の学生については、EMECS9の青少年環境教育交流セッション

ンへ派遣するとともに、選考された発展途上国の学生については、EMECs9青少年環境教育交流セッションへの参加経費の一部助成を行う。

- ・ 派遣等決定時期 平成23年(2011年)5月頃 (予定)
- ・ 国内募集 (予定) 2名
- ・ 海外募集 (予定) 若干名

エ EMECS9会議報告書の作成・配付 (郵便事業株式会社年賀寄附金配分申請中)

平成23年8月にアメリカ合衆国メリーランド州で開催するEMECs9の成果を内外に普及させるため、EMECs9の主な発表内容等を掲載した報告書を日本語及び英語で作成する。

併せて、報告書の内容については、エメックスホームページに掲載する。

オ エメックス活動の推進

国際的な調査・研究事業の推進に向けて、海外研究者等との人的ネットワークを構築していくため、関連する国際会議等に科学・政策委員等を派遣し、エメックス活動のPRを行う。

カ 国内外機関との連携

① PEMSEA (東アジア海域環境管理パートナーシップ) 等との連携

平成20年(2008年)に非政府パートナーとして加入したPEMSEA(東アジア海域環境管理パートナーシップ)やエメックス会議への参画実績があるLOICZ(沿岸域における陸地-海洋相互作用研究計画)との情報交換等を進め、海外機関との連携充実を図る。

② アジアでの気候変動適応技術に関するニーズ情報の収集(環境省申請予定)

気候変動により大きな影響を受けるとみられるアジアの沿岸域での適応策の推進に役立てるため、求められる気候変動適応技術のニーズ情報について情報収集を行う事業を検討する。

キ 調査研究事業

水質や底質、生物の生息環境の劣化等の進んだ湾奥部の環境の再生をめざして尼崎港に設置している人工干潟等の実証試験施設を共同研究の場として活用し、関係大学や研究機関と連携して閉鎖性海域における環境保全・創造方策に関する調査研究の推進を図る。

2 情報収集整備活用事業

ア 情報収集・提供システムの運用・管理

閉鎖性海域の環境保全と適正な利用に関する情報提供・情報交流基盤としてインターネットを活用し、ホームページ(日本語・英語)の運用・管理を行う。

また、内外の関係者が、閉鎖性海域に関する水質等の環境データや社会経済

データ等の情報検索を容易にする「閉鎖性海域環境情報システム」の運用・管理を継続して行う。

イ エメックスニュースの発行等

当センターの活動状況、世界の閉鎖性海域の環境保全活動等を掲載した「エメックスニュース」を年2回発行する（日本語・英語）。

また、メール配信システム（メルマガ）を利用して、情報のタイムリーな提供を行う。

ウ 「里海事例集」（英語版）の発行（新）（地球環境基金助成申請中）

本年8月のEMECS9においても里海ワークショップを開催する予定であるが、里海のコンセプトをさらに世界に発信していくため、これまで開催してきたEMECS8里海セッション（平成20年）、PEMSEAの第3回東アジア海域会議で開催した里海国際ワークショップ（平成21年）等を通じて得られた情報を再整理し、事例集（英語版）としてとりまとめるとともに、沿岸域への人口が集中するアジア地域をはじめ世界に向けて情報提供を行う。

3 人材育成・普及啓発事業

ア 開発途上国の行政官への統合的水環境管理研修（国際協力機構JICA受託）

我が国の閉鎖性海域における環境保全の経験を基に、開発途上国の中堅行政官を対象とした「沿岸域・内海およびその集水域における統合的水環境管理研修」を実施する。

・研修実施予定時期 平成23年(2011年)5月～7月頃（約2ヶ月間）

イ 海の環境学習人材育成事業

地域団体等を対象とした海の環境学習活動を推進するため、関係機関の協力を得て、御前浜の人工浅場や尼崎港内の人工干潟等を活用し、講義や生物観察会を実施する。

ウ 海外の若手研究者を対象とした能力開発研修（APN助成事業：2年目）

海外を往来する船舶等に起因する外来生物種の侵入が既存の生態系に大きな影響を与えているが、外来種の侵入に際しては、現在普及している形態的分類法だけでは、外来種の侵入を早期発見しその影響を低減させることは困難と考えられている。

このため、遺伝子マーカーを用いた同定技術の研修を実施し、東南アジア各国の研究者間で情報共有することにより、外来種侵入の早期発見・早期対応に資するとともに、生物多様性の保護に貢献する。

- ・研修実施予定時期 平成23年(2011年)11月頃
- ・研修実施予定場所 神戸大学外

エ エメックス国際セミナーの開催

海外における閉鎖性海域の環境保全の取組状況について、県民、企業、行政機関等に最新情報を提供するとともに、海外関係者との情報交流の機会を提供するため、科学・政策委員の来日機会等をとらえ公開セミナーを開催してきた。

平成23年度は、EMECS9が開催されることから、その結果を踏まえ会議成果を普及するセミナーの開催を計画する。

- ・開催予定時期 平成24年(2012年)3月頃
- ・開催予定場所 神戸市内
- ・テーマ(予定) (仮) EMECS9の概要と成果

オ 環境イベントへの出展等

エメックスセンター活動の普及啓発と閉鎖性海域の環境情報発信のため、エコフェスティバル等各種環境イベントに出展を行う。